

インフレ前に購入
中古ワンルーム顕著

日本財託

日本財託は、ローン購入者の実態調査を行い、資産価値が上がる前に早期購入する動きが鮮明との結果を発表した。同社で前期に中古ワンルームマンションをローンで購入した341人598戸

のデータをまとめた。

同社が取り扱う投資用中古ワンルームマンションの物件価格が前年対比で7.5%上昇するなか、自己資金は6.2%減少。

自己資金が少なくても物件購入に踏み切っていることと分析する。

ローンの平均利用額は1326万円で前年対比で155万円(13.2%)

上昇した。ローン利用者の約7割以上が低金利の30年以上の長期ローンを組むことで、毎月の返済額を抑える傾向が示された。

ローン利用者の年収については、前々期が700万円台だったところ前期は500万円台と200万円低かった。